

講演会『Pharmacy in the USA』を開催して

大学院乳腺腫瘍学所属、薬剤部 主任 齊藤 有希、
 医学部一般教育外国語研究室 助教 アンドリュー・メイソン、
 同 教授 浅野 恵子

2/26（金）、医学部一般教育外国語研究室アンドリュー・メイソン助教がFD活動の一環として、薬剤部の職員向けに『Pharmacy in the USA（米国薬剤師・薬局の事情）』と題した講演を行いました。昨年、外国語研究室に着任したメイソン助教は、米国薬学専門職博士号（PharmD）と経営学修士（MBA）を取得という異色の経歴を持つ方です。



講演会のあとで
 （後列、右から2人目がメイソン先生）

大学院医学研究科博士課程の大学院生でもある順天堂医院薬剤部の齊藤有希主任が、浅野恵子教授が担当する「英語集中プログラム②」の講義を受講しており、日米の薬剤師の相違などの話が持ち上がったのが今回の講演会のきっかけとなりました。また、薬剤部・荒川隆太郎部長の取り計らいによりこの講演会が実現しました。

当日、英語での講演とは知らずに参加された薬剤部の方もいらしたようです。そんな戸惑いの中始まった講演でしたが、セーフティディスタンスに配慮し少人数での開催としたことも功を奏して、講演の途中でも積極的に英語で質疑応答がありました。最後には言語の垣根を超え、薬学の共通知識をもとに活発な交流となりました。例えば、日米の薬学部の教育制度、薬剤師のレジデント制度、院内・調剤薬局の相違、米国薬剤師・薬局の仕事内容、米国での漢方薬の扱われ方、日米の薬剤形状の違い、そして吸入薬やオピオイドの服薬方法の英語での説明など、予定していた2時間では足りないくらい様々な話題で盛り上がりました。

昨今の病院では患者さんの対応に英語が必要な場合も多々あるそうで、「英語での薬剤師としての会話も練習したい」という声も上がりましたので、引き続きこのような交流の機会を企画し開催したいと考えております。



順天堂大学第 46 回都民公開講座

『人生 100 年時代を元気に生き抜くために：健康長寿を目指して』開催報告

座 長：医学研究科神経学（高齢者医療センター）教授 古川 芳明
同 整形外科・運動器医学（浦安病院）教授 丸山祐一郎

1963 年に内閣総理大臣が百歳を迎える方々に御祝状と記念品を贈呈する「百歳高齢者表彰」が開始されましたが、当時 153 人であった表彰対象者は、2020 年には 8 万 450 人に達しております。正に人生 100 年時代となった訳で、2/20（土）に Web 開催された都民公開講座では整形外科・糖尿病内科・脳神経内科の先生方に『100 歳になっても健康に生きる秘訣』に関して御講演頂きました。



古川教授



丸山教授

各演者の要点を以下にまとめることと致します。

①『人生 100 年時代のロコモ対策 - 膝の痛みの対処法 -』

医学研究科整形外科・運動器医学 主任教授 石島 旨章

近年、男性の 2 割・女性の 5 割が 90 歳を迎え、今後は「人生 100 年時代」が到来するとされています。同時に、高齢者の多くがロコモティブシンドロームに該当し、特に膝の痛みの原因となる変形性膝関節症を発症します。その対策として、疾患の理解を深め、運動療法にて筋力を回復させ維持することが重要です。更に、薬物治療を併用し、痛みを抑え活動性を回復させることが大切です。それでも進行した場合には外科的治療法も選択肢になります。今では人工膝関節全置換術のみならず、人工膝関節単顆置換術や膝周囲骨切り術も短期入院で早期の社会復帰が可能です。大切なことは、膝の痛みが出ない程度に活動性を制限させることなく、本来の活動性を回復・維持し続けることです。



石島教授

②『骨粗鬆症と脊椎圧迫骨折 - 健康寿命を延ばすために骨折の連鎖を断つ -』

医学部整形外科学講座（浦安病院）助教 百村 励

超高齢化の進む我が国において、骨粗鬆症は寿命や健康寿命に関わる重要な問題です。現在、わが国では人生の最期に平均 10 年もの間、何らかの介助が必要になっています。そして、介助が必要になる原因は転倒による骨折などで動けなくなることが多いことがわかっています。骨粗鬆症による骨折を起こすとまた次の骨折を起こしやすくなり、これを 2 次骨折と呼びます。骨粗鬆症では骨折の負の連鎖を断つことが非常に重要です。また、脊椎圧迫骨折などで動けな



百村助教

くなると、骨折が治っても活動性が落ちてしまうことが多いです。そうならないために、骨折を早く治して元の生活に早く戻ることも健康寿命を延ばすために重要なことです。

③『糖尿病とのつきあい方と口腔ケア』

医学部代謝内分泌学講座（高齢者医療センター）前任准教授 吉井 秀徳

高齢者糖尿病では患者さん中心の治療が大切で、血糖コントロール目標も個別に設定する必要があります。糖尿病の合併症としては、網膜症・腎障害・神経障害・末梢血管及び大血管の障害がよく知られていますが、最近では歯周病も注目を集めております。歯周病治療により2型糖尿病患者さんのHbA1cが0.4%低下するとの報告もあり、糖尿病診療ガイドラインでは歯周病治療が推奨され、また、糖尿病連携手帳の検査計画には眼科受診と同様に歯科受診の計画も記載するようになっております。今後、医科と歯科の連携はますます重要になるものと思われま



吉井前任准教授

④『知って安心 認知症と軽度認知障害』

医学部神経学講座（高齢者医療センター）前任准教授 志村 秀樹

認知症とは、病気によって脳のはたらきが低下し、日常生活や仕事に支障をきたした状態です。2012年の時点で認知症の人の数は約462万人、2025年には650～700万人に増え、65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると予測されています。症状としては記憶や判断等の脳の機能が衰えることで、様々な症状があらわれます。原因となる病気はアルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、血管性認知症などがあります。治療にはご本人の感情や興味を刺激し心の安全をはかる『非薬物療法』と、アルツハイマー型認知症のお薬による『薬物療法』があります。進行を遅らせることでご家族と一緒に過ごす時間を長くすることが出来ます。



志村前任准教授

お知らせ

- バックナンバーはこちらからご覧ください。
(<https://www.juntendo.ac.jp/corp/news/letter>)
- 医学部同窓生の方の送付先住所変更等につきましては右記の文書・広報課までご連絡ください。
- 啓友会・看護学部同窓会の同窓生の方は各同窓会事務局あてにご連絡ください。
- 在学生保護者の皆様には保護者会会員宛てとしてお送りしております。送付先の変更については各キャンパス事務室にご連絡ください。
- 本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



学校法人順天堂 広報誌 「順天堂だより」315号(2021.3)

- 発行 学校法人順天堂 <https://www.juntendo.ac.jp>
- 編集 総務局総務部文書・広報課
〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1
TEL:03-5802-1006(直通) FAX:03-3814-9100
E-mail: pr@juntendo.ac.jp
- 発行日 令和3年4月15日発行
- 印刷・製本 ダイト印刷株式会社
- 発行部数 10,000部

